

共産党市議団の
幹事長として

市民パワーと共同すれば政治が動く

国保料の引き下げを実現



街頭で国民健康保険料の署名を集める私。
「ぜひ下げてほしい」と切実な訴えをたくさん聞きました。

保険料が高すぎて払えず、保険証をとりあげられて医者にかかれずに手遅れに……4年前福岡市のめちゃくちゃな国民健康保険行政がテレビで続けて報道され、大きな社会問題になりました。

私は共産党市議団、他の市民団体と協力して、「国保をよくする福岡市の会」をたちあげ、政令市最悪の保険料の引き下げ運動をはじめました。

署名は街頭で列ができるほど集まり、市政史上空前の26万筆が集まりました。

を実現

さらに、市の国保運営協議会の委員となり、福岡市の保険料の高さをうきぼりにする論戦をおこない、引き下げ答申をまとめる土台をつくりました。2008年、09年と国保料の引き下げを実現させました。**さらに1人1万円の引き下げをめざしがんばります。**

運営協議会では、保険料が払えない世帯の子どもの保険証までもとりあげている無慈悲な実態を明らかにし、国会での答弁もしめしてとりあげをやめるよう市に求めました。

09年からは中学生以下、昨年からは高校生以下に短期保険証が交付。**保険証とりあげそのものをやめさせます。**

障害者福祉手当の「事業仕分け」を止めたときに



石松周
(障害者の生活と権利を守る
福岡県連絡協議会会長)

重度心身障がい者福祉手当が市の事業仕分けで廃止という評価になったとき、私たちが市役所前に座り込み、廃止は食い止められました。

そのとき中山議員が議会質問してくれました。市が「他の施策や国の施策が充実したので」という驚くべき認識を示していたため、中山市議は重度障がい者の障害基礎年金が実質生活保護水準よりも低い実態をつきつけ、廃止をやめよと主張してくれたのです。